



琴似駅前



第 615 号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>



路傍講演 (桑園駅前)

9 月 28 日、10 時の開始にあわせ 22 名の教会長、ようぼくが桑園駅前に集合。集合前には旗を掲げ路傍講演をする姿もあった。

はじめに親神様・教祖・祖霊様を遥拝し、全員でよろづよ八首のてをどりをを行い、武田巳千郎・北西支部布教部長が「私

全教一斉にをいがけデー
— 密着レポート —
「全教会布教推進月間」として設定されている 9 月。札幌北西支部が実動する最終 3 日間を同行取材した。

すべて喜び
すべておたすけ教祖 140 年祭
北海道教区スローガン

ちは、天理教を信仰する者でございませう。この地域が、この世界が陽気ぐらしにおさまり、争いがなく、互い立て合い、たすけ合う、そんな世の中に立て替わっていくようにと、願いを込めてつとめさせて頂いた次第です。」と挨拶をして、順番に路傍講演が行われた。

また駅前を往來する人々に声をかけて、リーフレットの手渡しも行った。手渡した方に、天理教の話をしたり、おさづけを取次ぐ方もいた。

29 日は、琴似駅前にて 19 名の教友が実動した。駅周辺でのリーフレット配り、路傍講演を行い、高層マンションに反響し、琴似駅前に神名が響き渡った。路傍講演を聞きつけ、差入れをして下さるようぶくの方がいたり、「私の親が天理教を信仰し



おさづけの取次ぎを



手稲駅前

「今後も支部として毎月布教活動を行い、また多くの方に参加いただけるように声をかけをしていきたい。」と武田布教部長が今後の展望を述べた。



リーフレット配り

※にをいがけデー
支部報告分が
閲覧できます

北海道教区のホームページ〈<https://tenrikyohk.com>〉で教区報がご覧頂けます

洞爺湖緑化ひのきしん
40周年を迎えて
青年会

9月20日、教区青年会は活動40周年を迎える「洞爺湖緑化ひのきしん」を開催し、JR洞爺駅前歩道除草、さくらみらい公園の草刈り、食生活準備の3班に分かれ、終日実動した。



かったが、参加者は黙々と作業を進めた。

一方、さくらみらい公園では会員7名が刈り払い機で除草にあたった。例年より人数は少なかったが、間隔を取りながら効率よく作業を進めた。

正午には生活班がカレーの昼食を用意。前日から仕込んだ本格的な味に、会員らの笑顔が広がった。



洞爺駅前除草

午後1時、再び作業開始。予

報では大雨の見込みだったが、雨は降らず、雲に覆われた空の下、快適に作業が進んだ。駅前では少年会員が元気いっぱい作業を行い、その中で通行人と交流も生まれた。公園班も休



午後3時半、役場で閉会式。生活環境課の高橋謙介課長は「見違えるほどきれいにしていただき感謝している。これからもご協力を」と謝辞を述べた。赤羽功チーフは会場提供への御

礼と感謝を述べ、遥拝ののち閉会した。

その後、40年の歩みをプロジェクターで振り返った。18時半からは高橋課長を囲んで懇親会が開かれ、これまでの活動や今後の展望を語り合った。

参加者からは「家族でひのきしんができて嬉しい」「(緑化)の由来を改めて知り、仲間に語り継ぎたい」といった声が寄せられた。

岡田委員長は「40周年という節目に諸先輩方の歩みに携われたこと、そして多くの方に参加いただけたことを光栄に思う。今後も地域に寄り添い、新たな歴史を紡いでいきたい」と結んだ。(委員長 岡田荃貴)

定例にいがけ
やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、10月16日、南7条西18丁目のなかよし公園を起点として10名が戸別訪問にまわり、



戸別訪問

布教活動を行った。冬の足音を感じさせる気候の中、グループに分かれて約45分ほど戸別訪問を実施。

『教祖のお伴を』との思いを胸に、一軒ずつお宅を訪問し、「天理教です。お話聞いていただけませんか？」と声を掛けた。その中、おさづけの取り次ぎを御守護いただいた方もおられ、参加者全員の勇みの種となった。

にいがけに歩くことはハードルも高く、一人で続けるとなれば尚更難しいことが多い。しかし、やまびこ会のような活動によって、お互いが一歩前へ踏み出す勇気をもらうことができる。教祖140年祭へ向かう成人の旬に、にいがけ実践の一助となる活動を、今後も地道に展開していきたい。

(代表 藤野充普)

挨拶される
下道洞爺湖町長

午前11時、各現場へ移動。今年には2班に分かれ、駅前では青年会員のほかOBや家族連れが役場から借りた道具で草取りに励んだ。路肩には根深い雑草も多

創立 120 周年を迎えるにあたり

— 十勝支部長 松岡 茂樹 —



今年の夏、我が町帯広は最高気温40度を超え、駅前温度計が振り切れ表示出来なくなり、

全国ニュースに取り上げられ日本一暑い町として有名になりました。

この昼夜の寒暖差が、美味し

い十勝の名産を作ります。沢山

ある名産品の中で、やはり一番は十勝小豆。道内や本州の友人達に送ると口を揃えて十勝の小豆は全然違う、臭みがなく直ぐ煮えるし、本当に美味しい、と言って喜んでいただける自慢の品です。

私は本年4月、十勝支部長を拝命し、教祖年祭活動仕上げの年を地域の皆様と「ようぼく一斉活動日」などの行事を通して、未熟な支部長に肉を蒔いていた

だきながら、勇んでつとめさせていたいております。

当帯廣分教会は、明治38年11月27日「さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるしおかう〜、さあ

せていただきました。代々の信仰の上に今日の結構をお見せ下さっている事に気づかせていただきました。

初代・二代の事は全くわかりませんが、先代は今思い返すと、48歳で支部長になっていたことがわかりました。私より10歳若く支部長になり、今の私の年にはつとめ終えていたことに驚いております。

支部長時代は毎月教区の例会に、雨の日も雪の日も車で教区に通っておりまして。今のよう

に高速道路もなくまだ紅葉山を含め砂利道も多かったように思います。教区例会の翌日は上級

上川分教会の例会で旭川への往復、その後は部内教会の巡教で

管内や道東を走り回り、大教会おぢばへの帰参と教会にいたの

は、ひと月に一週間位だったように思います。

当時教会の屋敷内の一件の住宅が工場を移転し空き家になっ

今のように携帯電話がない時代、電話の取次をしに当時中学

生の私が離れにある事務所に行くと、お兄さんやお姉さん達が

楽しそうに御用をされていた事を思い出します。こどもおぢばがえりなど定例行事はさることながら、駅前での路傍講演、仮装盆踊りの参加、天理高校吹奏楽部の招待演奏など、色々な行事を通して信仰の絆を深められたように思います。そんな中、御縁があり、数組のカップルが

誕生し、今では教会長・会長夫人として活躍されておられます。

私も先代達がつけてきた伏せ込みの上に御命を頂戴しました。代々が地域の結束や若者の丹精に心をかけてこられたように、次の代が楽しみを持って喜んでお道を通ってもらえるよう、応援したいと思っております。

先日初めて教区祭に参拝させていただいた時に、前日の福祉フェスティバルで、若い方達が大勢勇んで動いている姿を見るとホッとします。嬉しくなります。応援したくなります。先代もこんな気持ちだったのかなと思います。

八木 元善 氏
53 歳

札幌北西支部（荒木志朗支部長）では、10月5日、札幌分教会にて、支部・婦人会合同総会を開催し、60名が参加しました。



学生担当委員会（高橋清彦委員長）は、9月20日、オンラインでの支部担当者会議を実施し、18名が参加した。



委員長挨拶に続いて、今期の活動報告とこれからの動き、教祖140年祭の学生おぢばがえり大会についての進捗説明、十勝支部による支部活動紹介、ブレイクアウトルーム機能を使ったグループトーク『ちよいとトーク』を行った。

グループワークでは各支部の活動モデルケースを紹介し、支部でも使える事がなかったと熱心に情報共有と交換が行われた。

最後に、高橋委員長より12月に活動予定の学生会おとめ総会に一人でも多くの学生をお誘いして、会行事の感動と喜びを担当者も味わって頂きたい旨を伝えて閉会とした。

9月には、全教一斉にをいがけ
デーと日程が重なるため9月23
日に実施し、扇風機掃除、エア
コンフィルター掃除、神殿掃除、
ロビー、玄関、廊下、階段、大
小会議室、風呂掃除、トイレ掃
除、窓拭きを行い、22名が参加
下さいました。

ありがとうございました。



R188北海道教区学生会
おつとめ総会

開催日：12月6日(土)、7日(日)
場 所：〒064-0808
札幌市中央区南9条西11丁目1-1
天建教北海道教区支庁

日 程：(1日) 6日(土) 13時 受付
(2日) 7日(日) 9時 受付
10時 おつとめ総会
15時 完全解散

参加費：1000円
持ち物：米2合、箸替え、洗面用具、風呂道具
おつとめ着(あれば)

学生会公式イン스타그램：hkd_gakuseikai
連絡先 学部長委員 高橋：090-1733-0102
学生助役委員 松村：080-3238-8136



3日 一 手 一 二 才 原 し 一 と め

・廣岡 善文様 9月19日出直(67歳)
北実分教会長 (空知支部)